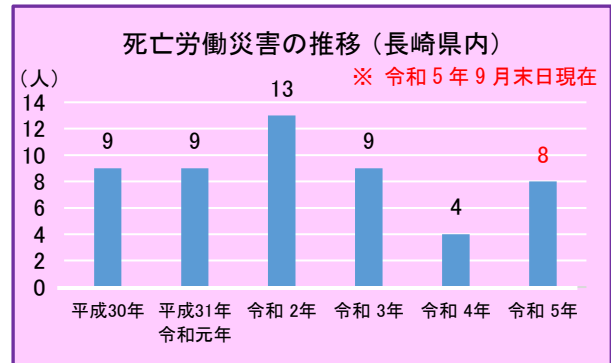


長崎県内で死亡労働災害が多発しています

労働災害防止対策の取り組み強化をお願いします

長崎県内の死亡労働災害の推移

長崎県内での令和5年の死亡労働災害について、9月末時点で8人（当署管内は4人、下表を参照）の尊い命が失われる災害が発生し、すでに前年を上回っており、誠に憂慮すべき事態となっています。死亡労働災害は絶対にあってはならないものです。



事業主の皆様には、死亡労働災害の撲滅に向け、基本的な安全活動の着実な実施・確認という原点に立ち返り、労使をはじめ、関係者が自身の責任を認識し、一体となった安全衛生活動に取り組むことにより、目前の災害発生要因の除去をお願いします。

長崎県内で令和5年に発生した死亡労働災害の概要

| いつ | だれが | どこで | 何をしていたとき | どうなった | 所轄 |
|----|-----------|-----------|--------------------------------------|-------------------------------------|-----|
| 2月 | 50歳代の作業員が | 工場内で | 新造船の中で溶接作業を行っていたとき | 作業箇所の下面が爆発し、その付近で倒れ、死亡した。 | 長崎 |
| 4月 | 50歳代の作業員が | 砂貯蔵庫で | 内壁に付着した砂を掻き落としていたとき | 砂に埋もれて死亡した。 | 諫早 |
| 5月 | 50歳代の作業員が | 伐採工事現場で | 高所作業車に搭乗し、立木の枝打ち等を行っていたとき | 地上高さ約10mより墜落し、死亡した。 | 長崎 |
| 6月 | 50歳代の作業員が | 工場内で | 設備のメンテナンス作業をしていたとき | 点検設備の奥のすき間に落ちていたのを発見され、その後死亡が確認された。 | 長崎 |
| 8月 | 60歳代の作業員が | アパートで | エアコン設置に伴う配管作業を外壁に立て掛けた移動はしご上で行っていたとき | 地上高さ約7mより墜落した。 | 佐世保 |
| 9月 | 70歳代の作業員が | 建設現場で | 建物2階の天井部分の型枠作業を行っていたとき | 切込みの入ったベニヤ板に乗り、高さ約3.8m下へ墜落した。 | 諫早 |
| 9月 | 60歳代の作業員が | 工場の屋根で | 雨漏り点検中にスレート屋根上を移動していたとき | スレートを踏み抜き、高さ約3.5m下へ墜落した。 | 佐世保 |
| 9月 | 40歳代の作業員が | 自社の倉庫敷地内で | 除草作業を行っていたとき | 勾配63度の斜面を約12m転落した。 | 長崎 |

(1) デジタル教材を活用した安全衛生教育を実施しましょう

■ 厚生労働省の「職場のあんぜんサイト」では、様々な安全衛生に関する教材を掲載されています。全体朝礼やT. B. M(ツール ボックス ミーティング ※)等において、一般的に視聴可能な安全衛生に関するデジタル教材を活用し、効果的な安全衛生教育を行ってください。

- 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>



- ※ T. B. M(ツール ボックス ミーティング)

職場で行う作業の打ち合わせのことです。「ツール ボックス(Tool Box)＝道具箱」の付近に集まり、職長が中心となって話し合うので、このように呼ばれています。一般的に朝の作業開始前、昼食後の作業再開時、作業の切り替え時等に5～15分の短時間で行われます。

(2) 「テールゲートリフターの操作に係る特別教育」が義務付けられます

■ 令和6年2月1日より、貨物自動車に設置されたテールゲートリフターの操作者に対し、学科教育4時間、実技教育2時間の安全衛生に係る特別の教育を行うことが必要となります。対象の貨物自動車をご使用されている事業主の皆様は、ご対応をお願いします。

- 厚生労働省「トラックでの荷役作業時における安全対策が強化されます。」

<https://www.mhlw.go.jp/content/001108427.pdf>



(3) 年末・年始における労働災害防止対策を徹底してください

■ 年末・年始は、年末までの業務の仕上げと、まとまった連休明けの年始に作業を再スタートしなければならないという慌たしさで、労働災害の増加が懸念されます。一年の締めくくりを笑顔で送り、労働災害のない明るい新年を迎えるために、「安全最優先」の考え方を基本に、慌ただしい時期にこそ、作業前点検の実施、安全な作業方法の確認等を着実に実施してください。

